

07/06・ギリシャ国民投票、緊縮策反対6割超す 首相、EUと再交渉へ  
⇒ポイント解説あります

- ・世界遺産、明治産業遺産を登録 日韓、薄氷の決着  
強制徴用、玉虫色の表現 「意思に反し労働」説明

07/07・ギリシャ国民投票 若者・低所得層、反対目立つ 失業・賃金減に不満  
投票率62.5%、反対61.3% 「ユーロ圏離脱望まず」首相の訴え奏功

07/08・BRICS銀行、第1回総会(7日モスクワ)年内にも業務開始 <1> <2>  
・習近平主席、抗日式典(盧溝橋事件記念)出席せず 反日姿勢を抑制  
・ギリシャ、妥協の道狭まる 緊縮譲歩「裏切りに」 欧州委員長「残留が目標」  
緊急のユーロ圏首脳会議 EU「12日が最終期限」 日経平均一時2万円割れ  
・米越首脳会談、ベトナム戦争後初 南シナ海懸念共有、中国をけん制  
ベトナム、実利で米に接近 TPPで輸出増 中国は最大の貿易相手国  
・邦銀の海外投融資急増 3月末残高3.3兆ドル、米銀抜く <3>  
日銀緩和で国内運用環境厳しくアジア向けけん引 欧米銀慎重なか5%増目立つ伸び

07/09・ギリシャ、新たな融資要請 緊縮財政策と引き替えにユーロ圏基金活用  
・中国株安アジアを巻き込む 一時8%安 株価対策効かず 日経平均638円安  
・TPP日米協議再開(東京) 安倍首相「ゴールテープに手」決着目指す

07/10・ギリシャ、EUに譲歩 財政改革案を提出 増税・年金抑制 <4>  
・日銀、今年度成長見通し下方修正 2%から1%台後半  
IMF見通しは今年0.8% 来年1.2%

07/11・EU、ギリシャ改革案を評価 オランダ仏大統領「信頼できる」  
・ギリシャ議会、改革案承認 国民反発「投票への裏切り」政権運営もいばらの道  
ギリシャ、銀行に三重苦 資金繰り難 不良債権膨張 国債損失リスク  
・TPP日米協議前進 日本側がコメ輸入上積みへ 閣僚決着探る  
・イエレンFBR議長講演 米利上げ「年内が適切」米経済「しっかりしている」  
・安倍首相、9月訪中を検討 3日の抗日記念式典外す日程 習訪米前に  
・上海株が大幅続伸4.5%高 中  
・中国新車販売6月2.3%減 3ヶ月連続減は6年半ぶり

07/12・ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル11日)ギリシャ再支援へ調整 <5>  
チプラス首相の「ユーロ圏残りたい」直談判受け、仏が手助け独は黙認

<1>

▼BRICS銀行  
ラシ、ロシア、インド、中国、南アフリカの新興5カ国が共同出資する国際開発金融機関の通称で、正式名は「新開発銀行」。2014年7月にブラジルで開かれたBRICS首脳会議で正式に「新興国版」ともいえる。欧米主導の国際金融秩序に対抗する狙いもある。

設立が決まった。初代総裁はインドのK.V.カマート氏が務める。任期は5年でブラジル、ロシア、南ア、中国の順で回す。世界銀行の

<2>

BRICS銀行とアジア投資銀の比較

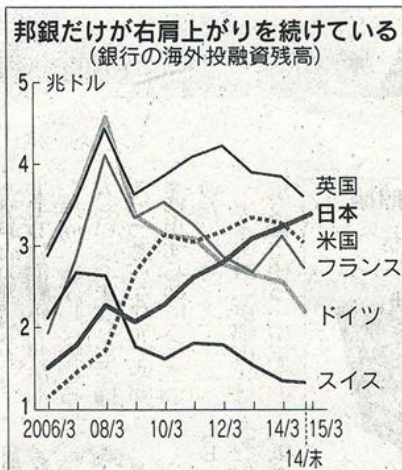
| 新開発銀行 (BRICS銀行)               |     | アジアインフラ投資銀行(AIIB)                 |
|-------------------------------|-----|-----------------------------------|
| 今年末にも業務開始                     | 設立  | 年内の発足を目指す                         |
| 中国・上海                         | 所在地 | 中国・北京                             |
| インドの民間銀行元会長 K.V.カマート氏         | 代表  | 中国が総裁候補として 金立群・元財政次官を指名           |
| 資本金は当初500億ドル、将来は1000億ドルに増やす   | 規模  | 資本金は1000億ドル                       |
| BRICS5カ国                      | 加盟国 | 欧州17カ国も含め創設メンバーは57カ国              |
| 5カ国が均等出資、アジアやアフリカ、中南米などの開発を援助 | その他 | 出資比率で30%を握る中国が主導。アジアのインフラ需要取り込み狙う |

<4>

ギリシャの新提案はEUが求めていた一部の項目を盛り込んだ

|          | EUが求めた財政改革案 (6月26日時点) | ギリシャが7月9日に提出した改革案    |
|----------|-----------------------|----------------------|
| 付加価値税    | レストランなどへの課税を23%に引き上げ  | レストランなどへの課税を23%に引き上げ |
| 離島への軽減税率 | 廃止                    | 豊かな島から段階的に廃止         |
| 軍事費の削減額  | 4億ユーロ                 | 従来案の2億ユーロから3億ユーロに上積み |
| 年金       | 早期退職の縮小や受給開始年齢の引き上げ   | 早期退職の縮小や受給開始年齢の引き上げ  |

<3>



<5>

9日にギリシャがEU側に提出した財政改革案の要点

|      |  |
|------|--|
| 税収増  | <ul style="list-style-type: none"> <li>法人税率は26%から28%に引き上げ</li> <li>付加価値税率はレストランなどで通常の23%に統一</li> <li>離島への軽減税率は16年末までに原則廃止</li> </ul> |
| 歳出削減 | <ul style="list-style-type: none"> <li>軍事費は2015年に1億10、16年に2億10を削減</li> <li>年金額の少ない人への特別給付制度を19年までに廃止</li> </ul>                      |